



2010年3月7日
号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

参院選第一次公認・推薦候補決定 常任幹事会 選挙区公認・推薦49人 比例区40人

第487回常任幹事会が3日、国会内で開催され、石井一選挙対策委員長から、



次期参院選の第一次公認候補（選挙区47人・比例区40人）、推薦候補（選挙区2人）についての議案が提出され、協議の結果、原案通り公認・推薦が決定しました。

この決定を受けて小沢一郎幹事長は、3日党本部で記者会見し、次期参院選第一次公認・推薦候補を発表しました。



また、小沢幹事長は今後、近いうちに公認を追加するとの見通しを示し、「あくまで（参院定数の）過半数獲得に全力を尽くす」と決意を表明しました。

また、記者団から参院選マニフェストの作成手順について問われて、小沢幹事長は「マニフェストは鳩山代表が党代表として（策定の）トップとなる。実務的には政府の意見もじゅうぶん聴きながら、党として対応する」と答えました。

決定した内訳は以下の通りです。

改選数2に2人擁立選挙区＝北海道、宮城、岐阜、兵庫、福岡。**改選数3以上で2人擁立選挙区**＝埼玉、千葉、東京、神奈川。**選挙区公認**＝現職28人、新人19人（男性34、女性13）。**選挙区推薦**＝現職1人、新人1人（男性1、女性1）。**比例区**＝現職18人、元職1人、新人21人（男性36、女性4）

与党幹事長会談 政治資金規正法改正へ

企業・団体献金めぐり 協議機関設置で合意

議員報酬も日割りへ

小沢一郎民主党幹事長はじめ、重野安正社民党幹事長、自見



庄三郎国民新党幹事長は4日、国会内で与党幹事長会談を開き、企業・団体献金のあり方を協議する機関を野党にも呼びかけて設置することで合意しました。

また、現状の財政状況のなか、議員報酬について、解散などの場合に、1日、2日の日数の在職でも1カ月分の報酬が支払われるのは許されることではないとして、日割りとするのも野党にも協議を呼びかけることで合意しました。なお、3党の幹事長間では、日割りとすることで一致しています。

また、会談では、沖縄普天間基地の移設問題も社民党の重野幹事長から、与党間で十分に話し合っ最終結論を出すべきであるとの要望が出されました。

会談後、3党の幹事長が揃って明らかにしました。

記者の質問に小沢幹事長は、「企業・団体献金廃止の3党の合意は現段階ではない。与野党の協議の場を設けることで一致した。一方的に『結論』というやり方ではなく、その場で協議する」としたうえで、与野党間でとりまとめれば、この国会で成立させたいとしました。